

# 第3章 計画の基本方向

## 第1節 基本理念

本市の観光は、これまで一貫して「港まち」としての歴史性に着目し、推進されてきました。平成23年度に策定された「第6次敦賀市総合計画」においても、陸海交通の要衝としての立地特性を活かし、国内外をつなぐ交流拠点となることを将来都市像に掲げています。このようなことから、本計画においても港と鉄道を本市の象徴として位置付け、これらを核とした観光の【まちづくり】を目指します。

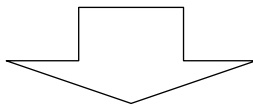
また、敦賀市民をはじめ、敦賀にかかわるすべての人が、敦賀の素晴らしさを知り、誇り・愛着を持つことで、その素晴らしいまちを訪れ、感動してくれる方々を、感謝の気持ちでおもてなしできるような【ひとづくり】を目指します。

## 第2節 計画の目標値

敦賀にかかわるすべての人が一体となり、協働により進めていくための数値目標として次の3指標を掲げ、計画を推進していきます。

### ■ 基準値

基準値	観光入込客数	宿泊観光客数	観光消費額
平成24年	190万人	13.3万人	44億円



### ■ 計画の目標指標

指標	平成26年	平成30年	平成34年
敦賀市観光入込客数	200万人	223万人	240万人
うち宿泊観光客数	14万人	19万人	21万人
観光消費額	48億円	63億円	66億円

## 第3節 観光振興戦略

### 1 ステージ別計画

観光のまち敦賀を確立していくには、段階を踏みながら取組を進めていくことが必要となります。そのため、計画期間内における短期、中期、長期それぞれに方向性を定め、施策を進めていきます。

#### (1) 短期

舞鶴若狭自動車道が全線開通する短期ステージ（平成25年度・平成26年度まで）には、策定された観光振興計画について市民をはじめとするすべての関係者に深く理解してもらうとともに、このステージだけではなく、中期・長期に位置付けられた各種事業についても、事業着手する重要な期間となります。

このステージの主なターゲットは、舞鶴若狭自動車道全線開通により特に来訪が見込める関西圏、さらには岡山・広島等の中国地方が想定されます。

また、事業としては、即効性の高いものを中心に、「食」関連事業の強化や、情報発信の拡充等に取り組みます。また、「おもてなし」に関しては長期的な取組が必要となるため、各ポイントごとに目標を設定し、この短期の時期から段階的に意識向上を図ります。

#### (2) 中期

福井国体が開催される中期ステージ（平成30年度まで）には、駅西地区交流拠点の整備が進められ、敦賀駅周辺が大きく様変わりします。

このステージは、敦賀が知名度をアップさせる絶好の機会となる重要な時期であるため、これまでの主要マーケットである関西圏、中京圏以外への広報活動を強化させる時期とします。

また、平成30年度に予定される国体開催時には、一時的に多くの方が敦賀を訪れることが予想されるため、それに向けた観光施設及びその周辺の整備と、宿泊業者をはじめとする観光事業者の育成・強化を図るなど、その先のリピーター獲得のための準備を進めます。

#### (3) 長期

長期ステージ（平成34年度まで）には、金ヶ崎周辺整備構想の第1段階が終了し、中心市街地における新たな観光エリアが現れ始めます。さらには、平成37年度末には北陸新幹線敦賀開業が予定されています。この動きにあわせ、首都圏へのPR体制の確立に努めます。

事業については、前述の金ヶ崎周辺整備構想等との連携により、敦賀を象徴するエリアの形成に取り組み、このエリアを中心とした観光都市・敦賀のイメージ定着を図ります。

■ 各ステージにおける方向性

期間	主な機会	取り組み課題	目指す姿
短期 H25～26	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 敦賀駅交流施設 供用開始</li> <li>■ 舞鶴若狭自動車道 全線開通</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 観光振興推進体制の確立</li> <li>● 情報発信拠点の充実</li> <li>● 食の魅力発信</li> <li>● 新しい観光資源の発掘</li> <li>● 観光プロモーションの準備</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 観光客が敦賀の観光に関する様々な情報を入手する環境が整備され、敦賀への関心が高まっている</li> <li>● 観光施策への市民参加の仕組みが構築され、市民全体が少しずつ観光を意識し始める</li> </ul>
中期 ～H30	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 駅西地区交流拠点 整備</li> <li>■ 福井国体開催</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 観光に係る人材の育成</li> <li>● 観光プロモーションの展開</li> <li>● 広域観光の推進</li> <li>● 観光商品の開発</li> <li>● 受入体制の充実</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 「港と鉄道のまち敦賀」を象徴する敦賀の観光スタイルが確立し、観光客がまちなか観光や敦賀の食に親しんでいる</li> <li>● 関連したグッズや新商品が開発され、新たな特産品として話題を生んでいる</li> <li>● 観光事業者の受入体制が整備され、特に宿泊観光客が増加する</li> </ul>
長期 ～H34	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 金ヶ崎周辺整備構想 第1段階</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 広域観光の推進</li> <li>● 観光プロモーションの展開</li> <li>● 観光マネジメントの確立</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 敦賀に新たな観光拠点が創出され、まちなか観光が一層の賑わいをみせている</li> <li>● 多様なメディアを通じて、敦賀の観光地や食などが紹介されている</li> </ul>

## 2 施策の基本方針

### 1 多様な観光資源の活用と保全

本市の多様な観光資源の中でも、まず、敦賀を象徴する資源・エリアをブラッシュアップしていくことが重要となります。現在敦賀市においては、港・鉄道といった象徴的なキーワードが集約されている金ヶ崎周辺や、敦賀の玄関となるべきJR敦賀駅周辺などで整備構想等が計画されています。そういった先行する計画との均衡を図りながら、観光の核となるエリアを形成していきます。

また、それらの核となるエリアを中心に、点在する自然や歴史等の観光資源の活用を考えます。多様な観光客のニーズに対応した様々な周遊コースの設定や、農林水産業やエネルギー産業を活用した産業観光・体験型観光の推進を図ります。

### 2 ホスピタリティの充実

観光客がリピーターとなるのは、当然ながらその土地での体験に対する満足度が高いときとなります。特に、人とのかかわりあいは大切で、観光事業者だけでなく、一般市民でさえ観光客にとっては満足度にかかわる重要な要素となります。そのため、常に市民及び観光事業者のおもてなし意識の醸成を図り、それを先導するリーダーの育成を推進します。

また、おもてなしとは、観光客に不便を感じさせないことも重要となります。観光客が不便なく観光をしていただくには、必要となる情報がすぐに手に入る状況が用意されていなければなりません。そのため、観光案内板の整備、情報拠点の充実等を図ります。

### 3 マーケティング戦略の推進

現代の観光振興に求められるものは、観光客にいかにか消費行動を起こさせるかということです。そのためには、やみくもにイベントを打ち、集客だけを求めるようなことではいけません。

まず、敦賀のどんなことをPRしていきたいのか、また、観光客にはどんなことが求められているのかを捉え、的確なコンセプトメイキング\*を行っていきます。次に、コンセプトやイメージを効果的に定着させるため、ターゲットに応じた情報戦略を立て、情報発信・提供を図ります。また、戦略の中では、多様化する情報通信ネットワーク社会への対応も考慮しつつ観光情報の発信・提供に取り組みます。

\*コンセプトメイキング：コンセプトとは、事業などを進める際の基本となる考え方を指し、それを導き出す、あるいは創り出す作業のこと。

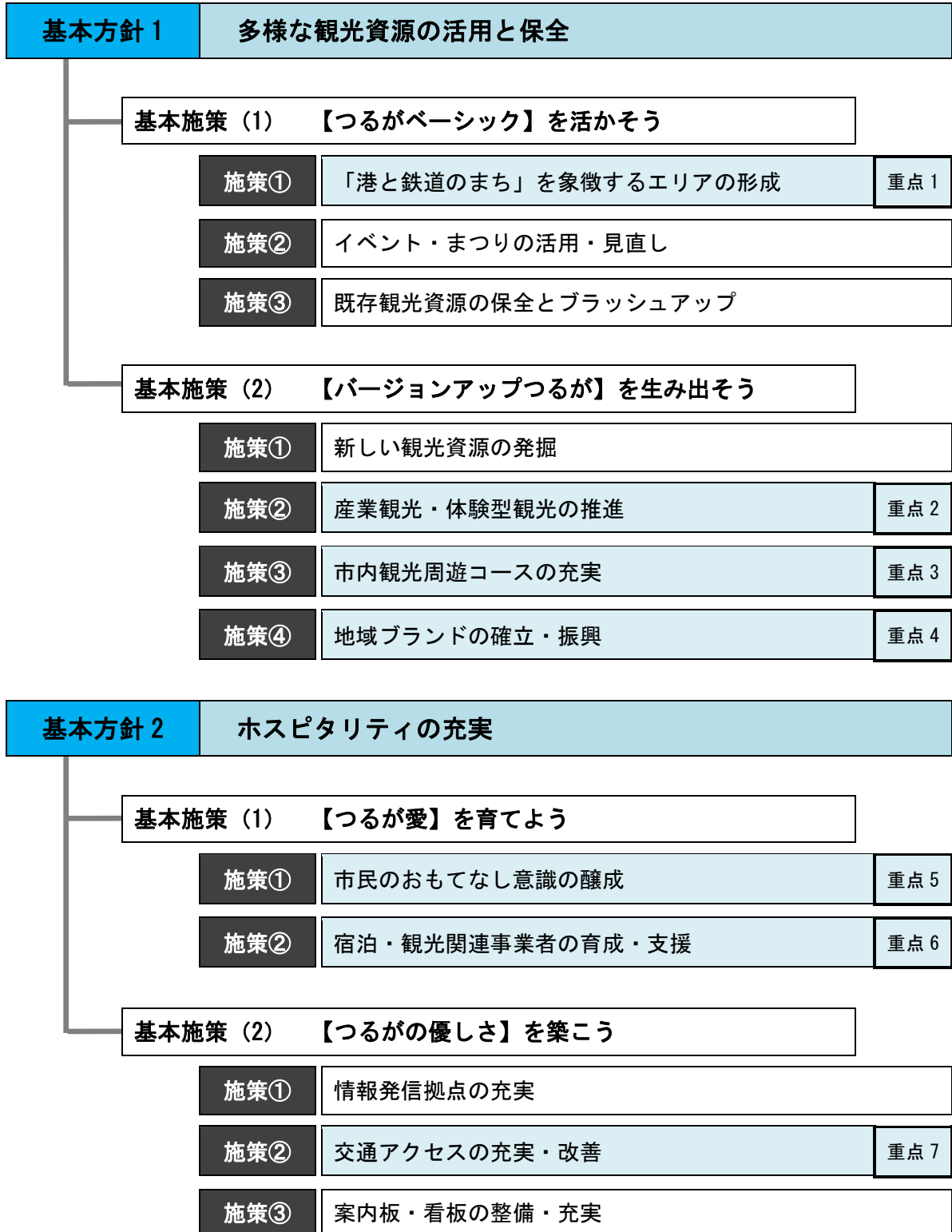
## 4 観光振興の推進体制の強化

これまでの行政主体の観光からの脱却を図るためには、産官学が協力し、観光振興における役割分担を明確化しながら、協働により取組を進めていかなければなりません。そのためには、（社）敦賀観光協会が連携の中心となり、観光事業の推進を担えるよう組織体制及び運営体制の強化に取り組めます。

また、高速交通ネットワークの整備が進む中、連携の枠組みは敦賀だけに留まらなくなりつつあるため、近隣市町との連携を図り、広域での観光ネットワークの形成を推進します。

### 3 施策の体系

前述の基本方針に基づき、それぞれの方針を推進するための、【基本施策】、【施策】を設定します。施策の具体的内容については、第4章、第5章に掲載します。



<b>基本方針 3</b>	<b>マーケティング戦略の推進</b>
---------------	---------------------

<b>基本施策 (1)</b>	<b>【つるがとは?】を考えよう</b>
-----------------	----------------------

<b>施策①</b>	敦賀観光のコンセプトメイキング	<b>重点 8</b>
------------	-----------------	-------------

<b>施策②</b>	イメージの定着に向けた取組の推進
------------	------------------

<b>施策③</b>	市場調査の推進	<b>重点 9</b>
------------	---------	-------------

<b>基本施策 (2)</b>	<b>【つるがとは!】を伝えよう</b>
-----------------	----------------------

<b>施策①</b>	敦賀の「食」の魅力発信
------------	-------------

<b>施策②</b>	情報発信ツールの整備・更新	<b>重点 10</b>
------------	---------------	--------------

<b>施策③</b>	ターゲットに応じた情報発信
------------	---------------

<b>基本方針 4</b>	<b>観光振興の推進体制の強化</b>
---------------	---------------------

<b>基本施策 (1)</b>	<b>【それぞれのつるが】を語り合おう</b>
-----------------	-------------------------

<b>施策①</b>	インバウンド観光の推進
------------	-------------

<b>施策②</b>	(社) 敦賀観光協会の運営体制強化・見直し	<b>重点 11</b>
------------	-----------------------	--------------

<b>施策③</b>	官民の連携体制の確立	<b>重点 12</b>
------------	------------	--------------

<b>基本施策 (2)</b>	<b>【つるがの仲間】と繋がろう</b>
-----------------	----------------------

<b>施策①</b>	観光地域づくりプラットフォーム形成への取組
------------	-----------------------

<b>施策②</b>	広域観光振興事業の推進
------------	-------------